

**令和6年度 岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校
適性検査Ⅱのねらい等について**

1 適性検査Ⅱのねらい

日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

2 課題ごとのねらい

課 題 1

説明的な文章を読んで、語句のまとまりや関係、構成や変化について理解し、語彙を豊かにしているかをみる。また、叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、「本を紹介する」という目的に応じて内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えを的確にまとめることができるかをみる。

設問（１）慣用句やことわざ等の表現を理解し、言語生活で用いるなど、語彙を豊かにしているかをみる。

設問（２）文章を読み、寓話による比喻を用いた表現の工夫に着目し、何をたどっているかを捉えることができるかをみる。

設問（３）叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、目的に応じて中心となる語や文を見付けて要旨を捉え、自分の考えをまとめるができるかをみる。

課 題 2

示された課題に対し、理由や事例を明確にししながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

課 題 3

地域の産業についての問題解決的な学習場面を設定し、海と森林をテーマとした資料を読み取りながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

設問（１）地図の特性に留意して、条件に従い、方位、縮尺、地図記号といった情報から選択・判断し、目的地までのコースを適切に表現することができるかをみる。

設問（２）資料の特性に留意して、情報を読み取り、社会的事象の特色や相互の関連から考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

設問（３）国や地方公共団体の政治の取組を把握して、林業の発展や森林資源の保全に関連する課題の解決に向けた自分の考えを表現することができるかをみる。

3 満点

70点満点

課題1

- (1) 「虫」で終わるもの……飛んで火にいる夏の虫、泣き虫、腹の虫 等
「虫」から始まるもの…虫がいい、虫の知らせ、虫の居所が悪い 等
※順不同可

- (2) A 考えすぎてしまういまの若い人 (14字)

- (3) B まずは仕事をやってみて、続けてみる (19字)
C 始めから自分の中であって、それが何か理解した上で生かすもの (29字)
D 仕事や出会いによって変化し、あわてて探し求めなくても自然とにじみ出る (34字)

課題2

(私は を選びました。なぜなら、)

私はだれにでも友達と話すような話し方をしてしまうからです。例えば、授業で校長先生にインタビューしたとき、「校長先生、何が好きなん。」と言ったことがありました。担任の先生に「好きですか、でしょ。」と注意されたので、「校長先生は何が好きですか。」と言い直しました。これからは、目上の人と話をするときや授業中の発言では、「です」や「ます」をつけるなど、相手の立場や状況を考えた言葉を使うようにします。(199字)

課題3

- (1) (地図中のAから)

南に向かって約300m進むと神社があるので、その交差点を西に曲がって約100m進むと目的地の図書館に着く。

- (2) ・資料1から読み取ったこと

森林におおわれている割合が大きいほど生息している絶滅つ危ぐ魚種の数が多いことが分かる。

- ・資料2から読み取ったこと

森林の多い山は森林の少ない山にくらべて、川や海の生き物が必要とする栄養が多く流れ出して、多くの種類の魚がいることが分かる。

- ・森林が漁業にあたえるえいきょう

森林の働きによって、多くの種類の魚が生息することができるようになり、漁かく量の増加にえいきょうをあたえている。

- (3) 林業で働く人の減少と高れい化の課題を解決するために、森林かん境税を林業に必要な機械を買うための補助金として使うことによって、少ない人数や高れい者でも森林の手入れがしやすくなる。